

# 報 館 おただ

平成29年9月1日現在  
 世帯数：3,058 戸  
 人口：3,559 人  
 男：3,662 人  
 女：7,221 人

## 町内公民館対抗球技大会

例の町内公民館対抗球技大会が行われました。開会式で、昨年の優勝カップや盾が返還され、5種類の競技がそれぞれの会場で行われました。マレットゴルフは、アルプス公園マレットゴルフ場が舞台です。松本平を見下ろす最高のロケーション。9グループに分かれて競技し、個人のスコアを町会の得点に反映します。日頃練習をしている人が多く、2割が女性だそうです。見ればさっそくカップイン。「いやあ、たまたま入っただけ。」「そのたまたまが難しいだ。」会話もまじって和やかでした。

9月3日(日)、恒例の町内公民館対抗球技大会が行われました。開会式で、昨年の優勝カップや盾が返還され、5種類の競技がそれぞれの会場で行われました。マレットゴルフは、アルプス公園マレットゴルフ場が舞台です。松本平を見下ろす最高のロケーション。9グループに分かれて競技し、個人のスコアを町会の得点に反映します。日頃練習をしている人が多く、2割が女性だそうです。見ればさっそくカップイン。「いやあ、たまたま入っただけ。」「そのたまたまが難しいだ。」会話もまじって和やかでした。



式野球が試合をしました。ユニフォーム着用、野球経験者もちらほら。昔盛んだった早起き野球がだんだん減ったと嘆く声も聞きますが、ここには40年選手もいます。ピッチャーが60歳以上の場合、2メートル前から投げてよい、というルールも作っているそうです。

ソフトバレーは、男女混合チームと女子のみのチームという2種類。他の競技と違うのは、小さい子どもたちがパパやママを応援する姿が目立ったことです。ママさんバレーの現役選手も、学生時代に選手だった人もいます。若々しく、パワフルでした。中学生高校生も参加していました。「自分でやりたいな」って思って。したら「ぜひ来て」って言われて。」「はつらつと答えてくれました。

卓球ラージボールは、女鳥羽中学校柔剣道場で、総当たりリーグ戦が行われました。球の速さは

はまちまちですが、長いラリーが楽しそうです。この大会を目標に、集まって和気あいあいと練習をしているとのこと。総合優勝の岡田町に「勝因は」と聞きました。「野球が優勝してくれましたし、ほかの競技も上位に入ったのがよかったですね」と控えめに喜びを表されています。

「とにかく怪我がなくてなにより。」役員の皆さんは、一様に安堵の表情でした。スポーツの大会は事前準備も多く、当日も終わるまで心配がつきないのだと思います。「球技は楽しい!」だから続けてこられたのだと、選手や応援の皆さんを見て、感じました。

得意な種目があるけれど言い出せない方、面倒かもしれないと思う方、いらっしゃるのでは? 気楽に来年から参加してみたいかがでしょう。

(取材 中本)

式野球が試合をしました。ユニフォーム着用、野球経験者もちらほら。昔盛んだった早起き野球がだんだん減ったと嘆く声も聞きますが、ここには40年選手もいます。ピッチャーが60歳以上の場合、2メートル前から投げてよい、というルールも作っているそうです。

ソフトバレーは、男女混合チームと女子のみのチームという2種類。他の競技と違うのは、小さい子どもたちがパパやママを応援する姿が目立ったことです。ママさんバレーの現役選手も、学生時代に選手だった人もいます。若々しく、パワフルでした。中学生高校生も参加していました。「自分でやりたいな」って思って。したら「ぜひ来て」って言われて。」「はつらつと答えてくれました。

卓球ラージボールは、女鳥羽中学校柔剣道場で、総当たりリーグ戦が行われました。球の速さは



岡田を抜けると次の刈谷原まで遠く、難所も多いことから岡田に宿場町ができたと思われま。実際に松本城から岡田宿まで歩いてみました。一時間程度の道のりですが、松本城から岡

善光寺街道とは江戸時代に始まります。江戸から信濃善光寺まで参拝に利用された道です。

江戸から善光寺まで200km以上ある道のり、現代なら車で4時間、当時なら徒歩でしょうからのくらくらいかつたのでしょうか。

中山道から(塩尻の洗馬)松本に入り岡田宿に入ります。岡田町には5つ程の宿場町としての名残があります。『本陣跡』『岡田宿跡』『所家』『岡田口番所跡』『分岐道標』それぞれの場所に看板が設置してありますので、目にした方も多いいのではないのでしょうか。

岡田 ぽつと ニュース

岡田町の歴史  
『善光寺街道  
宿場町の歴史』  
●岡田町●



「善光寺街道 (S20)」 石井柏亭 作 (浅間温泉「地本屋」所蔵) 撮影:野澤重喜

田までは緩やかな上り坂が続き汗だくになります。江戸から出発し信濃に入れば多くの峠を歩かなければなりません。現代は舗装されている道のりですが、当時であれば参拝するのにも苦勞の連続ではないのでしょうか。

2年前の善光寺御開帳でも多くの方が、善光寺街道を歩いているのを見かけました。では、当時の方々はなぜ険しい道のりを歩いたのか。歩きながら考えてみました。

現代では治る病気も、当時なら不治の病。説明できない天災など飢饉があります。説明できない事象に絶対的な神仏への信仰心が要因などではないかと、思いを募らせてみました。

(取材 伊藤)

# 岡田音頭の復活と継承を願う

岡田地区最大のビッグイベントである第32回おかだ夏まつりが7月29日に開催されました。あいにくの雨で、開会式とアトラクションは、急遽、体育館に場所を変更しましたが、女鳥羽中学校生徒会の皆さんの進行、岡田小学校金管バンド、女鳥羽中学校吹奏楽部、同小中学校の合同演奏、岡田太鼓連によるアトラクションが体育館いっぱいに響いていました。

最後は、3回目の事前練習を重ねた「岡田音頭」、「盆踊り定番」2曲(炭坑節・東京音頭)、「松本ほんぼん」を、飛び入り参加も含めたことと大人と一緒に踊る盛りに、大きな踊りの輪ができました。今年も、踊る参加者と浴衣着用者には「光るうちわ」が記念品として配付されたこともあり、例年になく賑やかな、ミニ盆踊りのアトラクションとなりました。

さて、岡田地区の皆さま！岡田音頭の由来をご存じですか？

手元にあるCD版岡田音頭(平成24年に岡田地区まちづくり委員会の事業として制



『岡田音頭』

(作)のジャケットには由来が詳しく記されています。昭和29年、岡田村が松本市に合併した時に地域住民の「岡田にも民謡が欲しい」という強い願いから、公民館、婦人会、青年団の有志が協力して制作した、と記載されています。338首の応募から20首が選定され、岡田地区神沢出身の小林つやえさん(当時御茶ノ水女子大学の音楽の先生)の尽力で、専門家による曲と踊りが完成しました。当時は肉声でしたが、やがて録音テープとなり、岡田地区運動会、各町会盆踊り、岡田小学校の運動会などで盛んに踊られたそうです。

地域ぐるみの運動会や盆踊

りが衰退するにつれ、岡田音頭も忘れられそうな状況となり、そのたびに、その存続を願う有志らで細々と命脈を保ってきた(館報141号/S55年、館報245号/H10年)ことは、大変な努力があったことと思います。岡田住民の誇りと意気地で創り出した、岡田風物詩とその踊りを、皆で共有し次世代に伝えていくことは、町づくりの第一歩です。来年もやろうね！

(取材 夏まつり事務局)

縁あって岡田へ居を構えて、17年がたとうとしている。最近では引越し当初のアーユエー感もなくなり、「岡田が地元」と人に自己紹介もできるようになったし、仕事の帰り道では、岡田の景色が見えるとほっと安心するようになった。

この安心感の元はなんだろう、と考えるてみたことがある。

住み慣れた土地というのの言うまでもないが、実は私は以前、市内の別の場所に数年間暮らしていた際、そこではさっぱり落ち着けなかった経験をしている。

そこでの私は常にピリピリし、周囲を警戒して生活

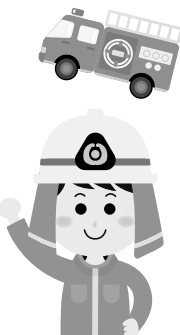
## 消防団第17分団紹介



西村 重雄 分団長

日頃は、松本市消防団第17分団に対し多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます

ます。当分団は、52名の団員が所属、地域の安全安心のため、火災及びその予防・水害・行方不明者捜索等に対応した活動をしております。近年、団員の数が減少傾向にあります。興味のある方は、男女を問わずお気軽にお声をおかけください。



### 生活雑記

#### 岡田に住んで：

山浦 宇留賀 智

していた。少しの騒音やいつもと違う何かが起こると不安になった。思い返すと当時の私たちが一家は、町会にこそ入ってはいたものの、ご近所付き合いを全くしていなかった。私は隣人の顔すら知らなかったし、町会行事も掃除や草取りなど必要最低限に出席するのみで、そこでもろくな会話をしなかった。そんな私たちに周囲の人たちも構ってくることは一切なかったし、当時の私はそれを「面倒がなくてよい」とさえ考えていた。

しかし岡田に越してくると、すぐに、町会行事への参加を求められた。最初は「面倒くさいな」と思ったが、参加してみると、知らなかったご近所さんの意外な一面や、こども、仕事の話題で盛り上がり、あつという間に顔見知りも増えた。あちらの方でも私たちを見かけると声をかけてくれたり、時には野菜のおすそ分けまでしてくれるようになった。

そんなことが生活しているうちに、安心感や自信につながっている、と感じている今日この頃、ご近所さんのありがたみは年齢を重ねるごとに増すばかりなのである。